

市民会館跡地の活用について

公共施設の最適化については、久留米市では、「久留米市公共施設総合管理基本計画」を策定し取組みを進められているが、市議会においても、市民生活へ影響がある重要な課題であると認識し、平成28年2月に公共施設の保有量削減や経費削減等についての提言を行い、市議会と行政が方向性を同じくして取組みを進めてきた。

一方、近年においては、新型コロナウイルス感染症の拡大への対応や、豪雨等による災害への対応など、市民の安全と安心を守るため、公共施設の役割が重要性を増すとともに、本庁舎等の事務庁舎施設のスペースが不足するなど、様々な課題が顕在化してきている。

そのような中、久留米市では、市民会館跡地の活用に関して、本庁舎等の公共施設の効率的な配置について検討を進められてきたが、その活用方法の方向性は示されていない状況である。

そこで、本庁舎等の事務庁舎施設について、市民会館跡地の有効活用や、行政機能の効率的な配置を念頭に置きながら調査を行った。

その結果、下記のとおり提言するので、早急に検討を進められることを要請する。

記

1 市民会館跡地の活用について

市民会館跡地の活用に当たっては、本庁舎や保健所機能、防災機能等の効率的な配置について十分に検討を行った上で、市民の生命と安全・安心な生活を安定的に守るため、新たな施設建設の準備を進められたい。

また、市民会館跡地は、現在、駐車場の用途を担っているため、必要台数の確保や市民の利便性に考慮した駐車場を整備されたい。

2 本庁舎等の事務庁舎施設について

総合的な窓口機能を有する事務庁舎施設については、市民生活に必要な行政サービスを、社会環境の変化等に応じ提供していくことが重要である。

そこで、以下のとおり、施設の規模や機能の見直しに向けて取組みを進められたい。

(1) 本庁舎について

広域合併や中核市移行等に伴い、施設の規模や機能が不足している現状を踏まえ、市民の利便性に配慮した窓口の配置や、市民が相談しやすい環境の整備、職員の執務スペースの確保などに取り組むこと。

(2) 保健所機能について

これまでの保健所運営や今般の感染症対応の課題を踏まえ、プライバシーに配慮した診療・相談スペースの確保や、検査部門の分散配置に伴う課題解消など、将来起こり得る大規模な感染症拡大等への対応も見据えた見直しを図ること。

(3) 防災機能について

国が示す災害対策本部の機能強化の内容を踏まえ、迅速かつ効率的に災害対応が行えるよう、災害対策本部設置時における事務局室の分散配置の解消や情報収集モニターの設備導入などに取り組むこと。

3 留意事項

市民会館跡地を活用した新たな施設の建設を検討するに当たり、以下の点に留意されたい。

(1) 財政面のシミュレーションや、施設機能の複合化、民間借上施設の見直し、既存施設の有効活用、P F I等の官民連携など、総合的な検討を行うこと。

(2) 市民サービス向上や業務効率化の観点から、市民利用窓口のレイアウト等の見直しを進めるとともに、福祉部門や子育て支援部門などの機能集約の検討を行うこと。

(3) 公共施設全般については、最適化に向けた取組みを推進し、行財政改革の歩みを停滞させないこと。